

第3回横須賀市救急医療センター指定管理者審査委員会議事録

- 1 日時 令和6年10月24日（木）10：00～11：30
- 2 場所 横須賀市救急医療センター 会議室
- 3 出席委員 野村委員（委員長）、岩田委員、笠原委員、加藤委員、山口委員
- 4 事務局 健康総務課 峰澤主査、荒井
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事内容 （1）意見交換
（2）採点並びに審査結果発表

◇出席委員による意見交換

主な意見は次のとおり

1 法令順守

- ・ 日本医師会の規定に準じており、法規範の順守及び法秩序の形成に努めている。
- ・ 様々な委員会において、しっかりと検討が行われていることが評価できる。
- ・ 日本医師会が定めている「医の倫理綱領」を当該医師会も遵守していくこと、また諮問機関を設置して個人情報に対して万全の体制を整えているところは十分評価でき、今後も法令順守されていくものと期待が持てる。

2 施設管理

- ・ 実績も含め、十分に管理を行っている点が評価できる。
- ・ 施設の清潔さは医療機関において非常に重要で、救急医療センターに訪れることで感染が拡大することはあってはならないし、また医療従事者の方も危険にさらされてはならない。そのような視点から、物が整然と整理され各所清掃も行き届いており、非常に安心してかかる医療機関であると感じ、そのような施設管理を維持している点は高く評価できる。
- ・ 過去に拝見した時と、同じように維持されていることは素晴らしいことだと思う。
- ・ 将来の修繕に向けた準備を着々に行っている点が評価できる。

3 利用者への配慮

- ・ これまでも利用者に対し十分な配慮が行われており、今後も変わらない対応を期待する。
- ・ 混雑時には、駐車場に入りきれない車が列になる可能性があるが、スムーズな対策を期待する。

- ・ 診療順が利用者に示されていることは、近くの方であれば家で待機することができるなどの工夫は評価できる。

4 リスクへの対応

- ・ 平成9年度から毎年11月に関係される方々と協力をしながら訓練を行っている点が評価できる。
- ・ 訓練の実施や日頃からの施設の維持管理、マニュアルの整備も含めて、リスク管理に努めている。
- ・ 災害時の拠点の一つとして意識を高く持ち、毎年訓練を重ねている。訓練はいざという時に役立つものだと考え、引き続き訓練を行っていくことについて非常に安心ができ、期待が持てる。
- ・ 津波対策等のリスク管理については、どこがどのような役割を担って、どこまでできるのかということを明確にし、市も含めて検討していくことがリスク管理に繋がると考えられる。

5 障害者及び男女共同参画社会への配慮

- ・ 医療においては男女共同で働くことは当たり前だと思うし、医療機関は女性が多い傾向であるが、それも含めてしっかり男女問わずしっかりと活躍している。
- ・ 雇用に関することについてはしっかりと配慮されている。ハラスメントについても、服務要領の禁止事項として明記するとともに、代表者による「ハラスメント宣言」を行うなど、職員に周知徹底されている。より認識を高めるための取り組みとして、定期的に研修を導入するなど。今後の取り組みに期待したい。
- ・ 今後も時代の流れで様変わりしてくる部分もあると思うので、遅れをとらないように順応していただきたい。

6 地域貢献

- ・ 医療の観点から見ると、救急医療センターから搬送していく先も横須賀市内に搬送されており、地域に密着した医療が行えることで、地域医療の要となっている。
- ・ 横須賀が一体となって、人々の健康に取り組む場所になっているという点で、地域貢献に関して評価できる。
- ・ 市内在住の方が多く働いていることは運営においてとても意味がある。急遽ドクターの都合がつかない際に、市内だとすぐに代わりのドクターが駆け付けられる。また災害時においても、市外だとここまでたどり着けないということが大いに考えられるが、市内であればその部分の不安が軽減され、安心できる部分である。

7 人員体制

- ・ 緊急時に電話連絡で対応可能な先生を探すことができるなどのバックアップ体制が整っていることが評価できる。
- ・ 小児科の先生が小児科の専門医であるという点は、全国的にも小児科の専門の先生がいるという体制は非常に厳しい状況であるので、そのような体制を組めているということは、特筆すべき点と評価できる。
- ・ 看護師や事務職員についても市内在住の方が大半を占めていることから、今後も安定した人員体制が可能であると考ええる。
- ・ これまで特に問題がなかったことを考慮すると、今後もこの体制をしっかりと維持していただきたい。
- ・ 医師の働き方改革に伴い、ドクターの休憩時間を9時間空けるというような措置の中で、今後人員を確保する上では課題になってくる部分かと思う。今後10年間の中で、働き方改革を踏まえた市民の健康を守るという意味での対応を、引き続き市と十分に協議していただきたい。

8 待ち時間の短縮

- ・ 駐車場の確保については、新型コロナの際に市と連携を取りつつ、近隣の施設からも協力を得ながら、柔軟に対応されている点が評価できる。
- ・ GWや年末年始のような他の医療機関が休みになる中で、救急医療センターは要になってくる場所で、どうしても患者は集まってくるので待ち時間は長くなる。そういった中でもトリアージをしながら、対応していただいていることは、待ち時間の短縮に寄与している部分であると考えられる。
- ・ キャッシュレス化については、時代の流れの中で導入されていくべきものであるため、対応されたことは評価できる。
- ・ 電子カルテについては、様々な事情があるかと思うが、導入されればより待ち時間の短縮に繋がるのではないかと考えられる。
- ・ 電子カルテの導入が進めば、医師も患者もスタッフもよりスムーズに仕事ができるのではないかと考えられる。
- ・ カルテの電子化を積極的に進めていただきたい。

9 医療の質を向上させる取り組み

- ・ 症例検討会等を行っていることは、ローテーションの中で先生方が基本的に夜しかお会いできない状況を考慮すると、素晴らしいことであると評価でき、今後も続けていっていただきたい。
- ・ 患者の医療情報を得ることがまさに電子カルテであり、電子カルテは医療機関や救急とも全てが繋がって、事前情報が得られる。その翌日においても、例えばかかり

つけ医にかかる場合にカルテをそのまま共有できる点が利点と考えられる。これまで高かったハードルを乗り越えようと検討に踏み切ったことは評価でき、検討に終わらずに導入することが患者情報の共有に繋がると考えられるので期待したい。

- ・ 重症度の判定を、看護師や事務の方も行う機会があると考えられるが、そのような方々が一定の判断ができるよう教育や研修を積み重ね続けていくことが、安全に救急医療を展開していく上では重要になってくると考えられる。突然現れるかもしれない新しい病気や感染症に対する知識をできるだけ早くキャッチできるような機会を、このセンター内で行っていただきたい。
- ・ 医師の研修についてはよく理解できたが、看護師や事務の方々も同様に患者に接触するので、その方たちの健康のためにも研修していただける機会があるとよいと思うので、今後期待したい。

10 様々な制限のある利用者

- ・ 横須賀は他の地域と違って、外国人が多いため、その方々に対応できるような機能が充実していれば問題ないと考えられる。
- ・ 多言語映像通訳を導入しているので、外国人の方がいらっしゃっても対応がスムーズにできると考えられ評価できる。
- ・ 病気の際には患者に余裕がないことが多いと考えられるので、多様な方々に今後も対応していただきたい。

11 パンデミック発生時の対応策

- ・ 直近でコロナを経験しており、その経験というのは今後新たな感染症が発生した際にも十分活かされることが期待できる。
- ・ 先生方が様々なアイディアを持っていて、それらをどう短期的に実践するかというところも、今回のコロナの際にも行っていただいたので、次に十分活かされると期待を持てる。
- ・ 医師会の協力なくして、横須賀市はコロナを乗り越えられなかったのではないかという思いがあった。
- ・ 救急医療センターが各先生の意見だったり、情報が共有できる場所でもあると考えられ、経験値を活かしていただき、十分対応できると思うので評価できる。
- ・ 県内だけでなく、全国的に見て先駆的な取り組みで、素晴らしく早く対応がなされていた点が特筆すべき点であった。
- ・ 広く土地があり、かつ設備が良いということが先駆的な取り組みを可能にできた一因であり、市とともに柔軟に対応できるという体制が、長く続けてきた結果だと考えられ、その点を高く評価したい。

12 接遇能力を向上させる取り組み

- ・ 利用者の方が気持ちよく最終的にこちらを去るということをやっていただければと思うが、今回の提案では理念的な部分のみであって、今までも十分やっていたいているところではあると思うが、具体的に事業計画の中で何をやっていくのかというのはなかった。今以上にという点が見られなかった。
- ・ 救急医療は時に、順番をお待ちの方に怒りをぶつけられる等のカスタマーハラスメントのような問題が発生することがある。救急の現場は非常につらい状態でお見えになられるということで、そのようなケースにさらされやすい場所である。
- ・ 現状についてはお一人お一人丁寧にやっていただいて問題は特に起きてないと思うので、現状は高く評価できる。
- ・ 今後についてはリスク管理にも繋がるかと思うが、何か特徴的な対応について学ぶ等の機会があればよいと思う。

◇採点

◇採点結果確認

◇審査結果発表

事前に事務局で集計を行った基礎項目評価の点数は、150 点満点中 150 点で、最低基準の 65 点以上であった。次に提案評価に対する採点審査の結果については、評価項目の「(1) 法令順守」「(2) 施設管理」「(3) 利用者への配慮」「(4) リスクへの対応」の各項目の審査委員全員の合計点は、すべて最低基準の 5 点以上であった。最後に、基礎項目評価と提案評価の合計点は、1,000 点満点中、890 点で、満点に対する得点率は 89%であった。最低基準である総得点が満点の 60%以上となり、結果として、今回の指定管理者申請要項における最低基準をすべて満たした。

◇選考団体決定

審査委員会として、横須賀市救急医療センターの次期指定管理者として、申請団体である一般社団法人横須賀市医師会を選考することを決定した。

◇閉会

以上